

中学卒業後、私は高校では新しい事をしたいと思い、大好きな英語を伸ばせるカナダへの留学を決意しました。

しかし、初めての1人での海外生活は不安でたまりませんでした。

特に慣れない英語でのコミュニケーションは本当に大変でした。

実は英語が好き、というだけで全く喋れず、中学での英語の成績は自慢できるものではなかったのです。

周りに日本人も全くおらず、頼れる人もいなかった為、思考錯誤のすえ

スケッチブックを持ち歩き分からない単語は絵を描いてカナダ人とコミュニケーションを取りました。

他にも日本から持ってきた英語の単語張を手に取り

毎日何時間も書いたり賞えたりしました。

さらに、興味のある映画のDVDを何度もくり返し観て会話のレベルUPを計りました。

元々勉強好きでは決してなかったのですが何故ここまでしたかという、やはり1日もはやく現地の人との交流を

望んだからです。

海外留学したからといって、必ずそこで英語能力がUPすると

いう事は全く無く、そこで自分が何をしたかが1番大事で

その結果が英語能力をUPさせる事につながると思います。

そのおかげで今はほとんど不自由なく英語での生活を送っています。

しかし日本と違いカナダでは何もかもが自由で楽しかった為

私は自分自身がゆるんでしまい学問をおろそかにしてしまう所が

多々あり、思いきって別の環境であるイギリスへの留学先を変更しました。

イギリスはカナダと違い良い意味で厳しく、新鮮な気持ちで再出発できました。

難点といえば寮生活や規則、学業がカナダ以上に大変な所です。

しかし、私にとっては逆に厳しい環境の方がかえって良かったと思えます。

今は日本の大学に向け日々勉学に励んでいます。

いつも陰ながら支えてくれる両親や他の生徒の2倍、3倍もご心配、ご迷惑をおかけした高橋社長、斎藤さんに心から

感謝しています。

本当にありがとうございます。これから宜しくお願いします。 酒井奈津代

# ジヤバンセンター 高橋 謙

いつ大変お世話になり、誠に有難うございます。

伊佐頼、原橋 お送り致します。

尚、フルネームのOKと有難う。写真の取扱は、いいえです。

酒井 博

## 〈娘、留学と振り返って〉

高技より留学したいとの娘の希望で、ジヤバンセンターで父と訪れ、何度も相談した末、カタダへの留学が決定。

関西空港の一人旅立つ姿を、今でも鮮明に憶えておられる。本人も大変な音と希望とで、本意したことでしょう。親の気持ちとしては、よくよく若くして一人外国で暮らせることと、感心するやら、心配するやら、始まりました。周囲からは、「よく一人娘と手離せたら」と驚かれたものもありました。

慣れない環境、習慣の違い、英語漬けの毎日、ホームステイの問題など、戸惑うことも多かった様で、時差と気配が掛けにくく深夜の電話はほとんどの内容が、両親と心配をせざるを得ませんでした。「便りのないのは悪い知らせ」とはよく言われたものでした。

本人のワガママで自覚のなさもあったのでしよう。

カタダよりイギリスへの留学先を変更することになり、多大の御迷惑、お手数をおかけ致しました。

これが大変な転機となり、イギリスの高技へ移ったのは周囲の環境の変化もあり、又留学生活にも慣れたので

せいか、少しづつ落ちつよとみせ、帰国のたびに成長しゆく  
姿をみるにヒキキ来ヨシ。

両親の有難さ、人への感謝、日本の良さを再認識した  
よう。幸い周囲の友人にも恵まれ、楽しい寮生活  
をエンジョイしている様。可。

但、学業に関しては厳しい様。仲間思う様にやらず  
苦勞している様。可。...

今年、夏は、折角の留学経験と好む英語を学ばせる  
大層と考之。TOEIC, TOEFL の受験を。

オープンキャンパス、見学など多忙な日を送っておられ、  
長い人生、決して無駄にならないこの留学の機会を  
与えていただき、その後親身のサポート、アドバイスと  
下つたご支援センター、有藤様、高橋社長様には  
大変感謝致しております。今後とも引き続き見守り  
いただければ、印にお礼いたします。

酒中 櫻

P.S. 誤字、脱字がありましたら

訂正の措、お願ひ致し可。